

■ 学校を過ごしやすく！いそがばまわれ まずはトイレから始めよう (矢倉小学校)

1 【活動の趣旨】

こどもたちの学びや成長を支えるために、学校と地域が連携してどんなことができるかを相談し、校内における一番の課題としてあげられたトイレの環境改善に取り組むこととした。

2 【特徴的な活動内容】

○プロジェクト第1弾「トイレぴかぴかサプライズ」

2学期に登校してきたこどもを驚かせようと、地域から有志を募り、夏季休業中にこどもの手ではできない部分を中心に大人の手でトイレ掃除を行い、それぞれ担当したトイレの装飾を行った。



【白いペンキで下地作り】

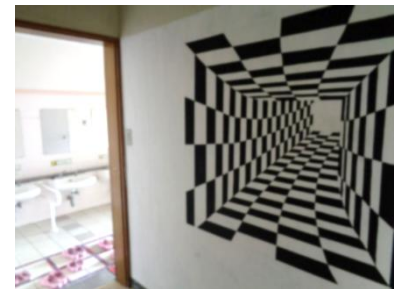
○プロジェクト第2弾「トリックアートでサプライズ」

こどもたちから出た案を採用し、トイレ入口の壁にサプライズでトリックアートを描く活動を行った。放課後に有志で集まったこどもと地域の方、教職員で作画を行い、登校してきたこどもたちを驚かせることができた。

3 【実施に当たっての工夫】

こどもたちが主体的に取り組める、自分たちでできる学校の環境づくりと、地域の協力の仕方について熟議した。

地域の方も加わって、実際にトイレの掃除をしてみることで、こどもたちの「困り感」や環境整備の必要性や重要性を実感し、改善策を模索することができた。



【できあがった
トリックアート】

4 【事業の成果】

- ・地域の方に、こどもたちがおかれている環境、こどもたちができること、できないこと、学校の課題等、同じ作業を一緒に行うことを通して、体験的に知っていただくことができた。
- ・こどもたちは、自分たちの思いや願いを伝え、形にすることを体験し、「私たちの学校」を自覚し、よりよくしていこうという意欲を持つことができた。

5 【事業の今後の展望】

こどもたちが毎日使うトイレだが、経年劣化による故障や和便器のままであるといった課題がある。そこで生まれたこのプロジェクトであるが、プロジェクトでできることにも限界があるため、こどもたちの願いや思いの実現が難しい面がある。SDGsの観点からも、こどもたちが安心して生活できる学校環境をつくっていけるよう、できることを考え、実践していきたい。